

上十

三
補
實
錄

廷尉卷

十



三楠實錄上之十廷尉之卷目錄

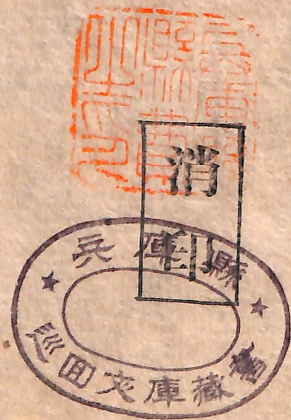
欲^ミ官^ミ軍^ミ責^ミ東^ミ寺^ミ脱^ミ晝^ミ

燒^ミ兵^ミ庫^ミ龍^ミ衣^ミ直^ミ義^ミ

豐^ミ鳴^ミ川^ミ原^ミ合^ミ戰^ミ

諫^ミ新^ミ田^ミ勵^ミ義^ミ

小^ミ清^ミ水^ミ合^ミ戰^ミ



三楠實錄上之十延尉之卷

畠山郡興泰全 撰

○欲官軍責東寺脱漏

去程ニ松本左兵衛ハ。僧ノ真似ヲシテ。京都ノ
敵ヲ計リ仰セ。坂本ニ飯リテ。正成ニ角ト語り
シカバ。正成サテハ。仕仰セタリトテ。下部共ニ
松明燈ニ連サセ。大原^ヲ京ヨリ^里尾^ノ方^ニ有^テ建
礼門院ノ旧鞍馬^ノ京ノ北^ニ三^ノ方^ハ遣ハシケレ
跡ヲ残セリ。京勢是ヲ見テ。スハヤ山門ノ敵共コソ。諸大

將ヲ討レテ。今夜諸方へ落行ト見ヘタリト云
ケレバ。尊氏兄弟是ヲ剋実モト思ヒケレバ。去
バ落サヌ様ニイタセトテ。諸方へ勢ヲゾ向ニ
ケル。正成ハ猶モ心元ナシトテ。足輕ノ兵百人
計リ勝テ。落人ニ仕立。口くへ指遣ハシケルニ
諸方ニ伏ノ勢在ヨシヲ申ス。正成サテハ疑ヒ
ナシトテ。諸大將一丰ニ成テ。西坂ミザ東塔ノ西谷
野ノ八庄司ヲ射タリシモ。此坂ノ内。孫四郎が額ト
ナリヲゾ下リケル。先陣ハ忠顯親光。長年都合
千五百余騎。二陣ハ顯家卿七十余騎。三陣ハ洞

先陣 忠顯親光 千音
二陣 顯家卿 七十
三陣 洞院左兵衛 一万
四陣 義貞 一万
五陣 正成 三千五百
尊氏氏東寺へ押寄

院ノ左衛督。一万余騎。四番ハ義貞一万余騎。五
番正成三千五百余騎。卯ノ上剋ニ。二條川原ニ
押寄タリ。兼テ諸大將議セラレケルハ。喊ヲ發
セズ。火ヲ放ズ。諸軍鳴ヲ靜メテ。尊氏ガ陣シケ
ル。東寺トウジ通ハ條通ノ西。大宮ト朱雀ノ間。南ハ九條
代。桓武天皇ノ御宇。大内裡ノ鵜臚館。人王五十
ヲ。沙門空海ニ賜フテ。密寺トナセリ。へ押寄。思
ヒ寄ザル處へ乱入シ。尊氏ヲ討ント。定メラレ
シヲ。千種中將忠顯愁ニ先陣ニ進マレケルガ。
此人從來大酒ニテ。其夜モ終夜ノ酒宴ニテ。襲
醉セラレシニマ。又ハ丰ノ者共。尋常安カハシ

キ故ニマ在ケン。此彼ニ火ヲ放テ。喊ノ色ヲ發
 セシ程ニ。尊氏兄弟目ヲ睭ク。周章シナガラ是
 ヲ見テ。スハ敵コソ寄タレ。サテハ計ラレケル
 ニマ。味方ノ勢スクナシ。戦フ所利アルベカラ
 ストテ。兄弟別レ。尊氏ハ丹波へ北行。直義ハ
 攝州へ逃行ナリ。兄弟トモニ。敵ノ旗ヲモ見ズ
 シテ北タル上。諸軍勢散クニ成テ。討ルノ者数
 ヲ知ラス。然レハ官軍思ヒノ外ニ。圖ヲ脱シケ
 レバ。義貞曰ク。此上ハ京中へ懸ヘント申サレ
 シヲ。正成曰ク。暫ク待給ヘ。忠顯ノ加程ノ兼
 約

ヲ忘レテ。圖ヲ脱サレ侍レバ。今ハ尊氏兄弟所
 ニ。早疾逃失侍リナン。何ト思フ所叶フベカラ
 ス。所クヘ分配シタル敵ノ兵共。今ハ大形敗ス
 ベキニハ侍レドモ。又細川定禪が如キ者ノア
 ルマ。ジキニモ侍ラズ。然レバ暫ラク。此所ニ陣
 ヲ居ラレ候ヘ。北畠殿洞院ナドノ軍勢モ早く
 ハ静マルマ。ジケレバ。迎モ思フ様ニハ。勸カレ
 マ。ジク侍ルト。申サレシ程ニ。義貞モ実モトテ
 一万余騎ヲ。七千ニ分。陣ヲ將軍塚
 道ノ南ノ方。青蓮院御門跡ノ上ナリ。桓武帝。平
 安城草創ノ時。將軍ノ像ヲ造テ。土中ニ埋テ。王

四ノ言ニ傳氏丹波へ落
直義、搦けり

城ノ地鎮トス。傳説ニノ邊ニゾ。張レナル。正成
古事ニ。此塚。鳴動スト。ノ邊ニゾ。張レナル。正成
モ三千五百余騎ヲ。三ツニ分テ。三條川原ニゾ
陣シケル。然ルニ生囚ノ中ニ。尊氏ハ丹波へ落
ラレ候ト。申ス者多カリシカバ。正成曰ク。北畠
殿。新田殿兩將ノ内。御一人明日。丹波へ御發向
候へ。某先陣仕リナン。又直義モ。攝州へ落行タ
ル由ニ候へバ。攝州へモ御一人。御向ヒ候ベシ。
兎角勝ニ乗時。北ルヲ追ニシカズ候ゾ。今日ハ
軍勢ヲマスメラレ。明日ハ卯ノ刻ニ。新田殿丹
波へ向ヒ玉ヘト。申サレシカバ。義負實モト申

サレシヲ。大江田里見ノ人ク申シケルハ。新田
ノ兵トテモ。其身鉄石ニアラザレバ。皆疲テ。四
五日ハ。用ニ立ベシ。存ゼスト申シケレバ。正
成眉ヲ蹙テ曰ク。味方疲バ。敵モ疲ナン。是ノ如
ク。勝ニ乗タル時。追詰テ。討ベキ敵ヲ討ザレバ。
敵活テ。前ニ倍シテ。強ル者ナリ。然ラバ。先日以
来。上下ノ苦勞ハ。皆徒ラ事トナリヌベシ。諸卒
ノ疲ハ。スコシノ勞。尊氏ヲ討ン事ハ。未代マデ
ノ善事ナリ。スコシノ勞ヲ苦ルシミテ。未代マ
デノ善事ヲ捨ン事。最モ口惜ク侍ルト申サレ

シカバ新田ノ人々。仰セ最モニハ。存シ候ヘ。糧食ガ候ハズト申シケレバ。正成^{タカ}討テ。各假初^{カク}ノ。勸^{カク}キニモ。三日ノ糧ヲ持セ給ハザルハ。不覺ナリ。某ガ勢ノ中ニ。糧米ヲ持サル者ハ侍ルマ。ジト申サレシカバ。人々曰ク。其ハ御國ノ近ク候ベバコソト云テ。丹波^{タニハ}へ發向セントハ。云ハザリシカバ。正成モ詮^セ方ナクサテハトテ又顯家卿へ申サレシカバ。彼卿ノ曰ク。尊氏ガ節度ハ。新田コソ兼^{マハツ}テゲレ。某ハ朝家ノ御大事ナレバト。上リタル計^{バカ}リナリ。新田コソ向フベキ事

勾當内侍ノ義貞ニ下ル
坂本ニ歸ル

ニヤト耳宣ヒテ。向ヒ玉ハズ。又義貞ハ。去ル十六日ノ合戦ニ舟田^{フナタ}入道ヲ討セタルトハ申シナガラ。僅^{ワザ}ニ一万ノ小勢ヲ以テ。大敵ヲ討破ル事^{タカイ}類ナキ軍功ナリ。旅泊^{リョハク}ノ徒然^{ツレ}ヲモ慰^{ナグサ}メトテ。勾當^{コウドウ}ノ内侍^{ナイシ}。堀尊寺^{ホリタカテラ}經尹^{キヨノ}之妹也。ヲ下サレシカバ。義貞^{タカユキ}忽^タチ心迷^{ヒヨ}ヒテ。一夜ノ別^{ワケ}ヲモ惜^{オシ}マレシ程ニ。以^{コノ}度^{タビ}モ又。是ニヤ心ノ引^ヒケシ。尊氏ヲ追ントモセズ。其夜モ京都ニ在^ア由^ユニテ。忍^シンデ坂本ヘ飯^イラレケリ。サルホドニ正成ハ。顯家卿モ義貞モ。攝津丹波^{セツツタニハ}へ發向セラレザリシカバ。大キニ

カヲ落シ。手勢三千五百余騎ヲ卒シテ。山崎ヘ
ゾ下ラレケル。是ハ八幡ノ城ニ。恩地左近ガ一
千余騎ニテ楯籠リシヲ。尊氏竹田小笠原下條
上條都合六千余騎ヲ差遣シ。十日計リ攻ケレ
ル。人耳討レテ。城少モヒルマズ。又去ルニ十七
日。和田泉州ニ命ジテ。恩地ニ助成セヨト。下知
セラレシカバ。和田ヤガテ。三千五百余騎ヲ率
シ。洞力嶺ヲ陣ニ取テ寄ヌ。同晦日ニ。正成三千
五百余騎ニテ。山崎ヘ越ヌレバ。明日ハ兵ヲ休
メ。二日ニ矢合セアルベシト。披露シテ晦日ノ

夜半計リニ。松明二千燈シテ。飯盛ヨリ。山崎
ヘ勢ノ加ル躰ヲ見セタリ。是ハ皆野伏共ニシ
テ。実ノ兵ニハアラザリケリ。然ル故ニ。武田小
笠原ノ者共。城ハ強シ。又遁ントスレル。道ナキ
事ヲ思ヒ。翌日朔日ニ。皆降人ニ成テゾヤニケ
リ。正成其夜ニモ。八幡ノ敵ヲ追散ニスコシモ
別議ハナカリシカレ。尊氏兄弟ハ敗北シヌ。誰
頼ムルナキニ。今テ城ヲ責テ居事ヲト云ノ
下知ハナシ。唯一筋ニ討死ト思ヒ。詰ヤシヌラ
ニ。サテハ味方ニ成タランハ。始終ノ味方ナラ

ント思ヒテ。一蒸くケレバ。果シテ翌日。皆味方ニ
ゾ降リケル。戦ヒナバ。敵ハ討亡シナン。然レモ。
思ヒ切タル敵ナレバ。味方モ多許討ルベキニ。
實ニ良將ノ行跡トゾ覺ヘケル。古ニ曰。皇甫嵩
百タビ勝ハ。戦ハズレテ。人ノ兵ヲ屈スルニハ
如ジト云。和漢時所。異ナリト云ヘモ。良將ノ
器タル所。以一般ナ事知ヌヘシ

或。問テ曰。楠公ノ篝火ヲ燒。松明ヲ燈テ。敵ヲ計
ル事。一往ナラス。古ニ云ヘル事アリ。同謀ニ
ビスル則バ。敵伏セズレテ。却テ敵ノ為ニ計
ルト。公是ヲ知ラスレテ用ル乎。然リト云

ハ。謀當ベカラス。否ナリセバ。旨趣如何。余
答テ曰ク。軍帥シモ云ハン多。農ユ商。儒佛神
道。醫巫ノ徒ニ至ルマデ。其業トスル。同シキ
道ノ中ニ於テ。得サル事アリ。不思議ニ妙ヲ
得ルアリ。今更ニ。謂ズレテ知ンヌベシ。然レ
モ。童蒙ニ便セ。一カ為ニ一箇ノ例ヲ示ン。藥
艸ノ中ニ附子ト云フ物アリ。大辛大熱ニシ
テ大毒アリ。醫ノ曰ク。尋常輕クシクハ用ヒ
難シト。然レモ。遣ヒ得タル能手在テ。是ヲ用
ユルニ神効立處ニアリ。遣ヒ得サル者はニ

習テ。不覺ニ用ル時。害ヲナシ。人ヲ損ズル事。
太タ急ナリ。得ルト。得ザルト。反スル事はノ
如シ。得ルトキンバ。庖丁牛ヲ解ノ類ナリ。將
ノ謀ニ至テモ。和漢以テ事はニ同シ。曹操ノ
敵ノ糧草ヲ焼事ヲ得モノトシ。諸葛武侯ノ
火攻ヲ得。楠公ノ松明。簾ノ謀畧。是皆鬼神不
測ノ妙ヲ得タル處アレバナリ。尋常ノ將之ニ
習テ。以テ計策ヲ施ス。凡再往何ゾ。人ヲ欺クベ
ケン乎。是公ノ松明ニ。奇有テ。簾ニ妙アル事
ヲ知ラサルヲ以テ。疑ヲ生スル處ナリ。是ハ

此達人ノ信得徹シタル妙ナレバ。豈不達ノ
沙汰ニ。及ブベキ事ナラン乎。又同ジ謀ニタ
ヒ用ヒスト云事ハ。是此謂ニハアラス。好士
ノ發明ニ有ン歟。

○焼兵庫襲直義

去程ニ正成ハ。八幡ノ寄手ヲ計リ降セシ上ニ。
又宇都宮公綱モ旗ヲ卷テ。山崎ノ陣ニ来リシ
ヲ。正成使者ヲ降テ。京都へ上セラレケルニ。義
貞ハ坂本ニ在テ。京ニハナシトナリ。正成是ヲ

図テ。世ハ又カウト申サレケリ。而シテ正成其
翌日。泉州紀州揚州ノ兵船百八十艘ヲ集メテ
兵庫ヲ焼立ヨ。烟リ見得バ。兵庫ヘ敵ハ集ルベ
カラスト。下知セラレシ程ニ。松浦櫻井深谷ヲ
大將トシテ。二月二日ノ未明ニ。和田ノ御崎ヨ
リゾ上リケル。軍勢ヲ三手ニ分テ。二手ハ兵庫
ノ宿ニ乱レ入テ火ヲ放チ。一手ハ和田ニアリ。
内大船八十艘ヲ。和田ガ崎ニ着又残ル百艘ヲ
ニリニ分。和田ガ崎ノ北ノ内海南ノ外海ヨリ
ゾ上リケル。然レバ百艘ノ勢。二手ニ成テ。兵庫

ヲ焼立。八十艘ノ兵。和田ガ崎ニ。備ヲ堅メテ在
シ處ヘ。直義ガ兵共落集チ。一万計リモヤアル
ラン。以程ノ臆病神。イマダ覺ヲ者共ナルニ。又
思ヒ寄ザル事ナレバ。コハ何事ヤラント騷乱
シ。上ヲ下ヘ返スト見ヘシ。足ニ任テ北行ヌ。直
義モ百騎計リニテ。摩耶山ヲ指テ逃行ケリ。正
成後ニ是ヲ図テ。直チニ。直義ガ陣ニ打テ入ナ
バ。直義ヲ討取ベキニ。嗚呼心地ノ悪サヨトゾ
申サレケル。細川清氏ハ。敵小勢ニテ船ヨリ上
リヌ。付暴ニ討取トテ。有合兵士五百騎計リニ

テ追蹙シニ。楠勢二手ノ兵一ヶ當取テ返シテ
戰フ間ニ。一手ハ三町計リ引退キ。クルリト返
シテ兵ヲ立レバ。又一手ガ有事。三町計リニシ
テ是ノ如シ。清氏ハ敵ノ船ニ乗シ處ヲ討ント
テ。敵返セバ退ヒテ。矢軍ニ時ヲ移ス。而シテ和
田ニ至レバ。細川ガ勢二千計リニナリヌ。然レ
興楠勢千五百アリケレバ。少シモ騷ス引退キ
サテ和田ニ殘シタル。一千余騎ノ者興防ギ矢
射テ。兵庫へ進メシ千五百余騎ノ兵ヲ靜カニ
船ニ乗移ラセ。而シテ西ノ海ノ渚ニ。船ヲ一面

ニ押並べ。中ナル道ヲ一文字ニ。洲崎へ向テ千
余騎ヲ引セケルニ。清氏進ミントスレバ。兩方
ヨリ散クニ射立ケレバ。進ム事能ハズ。其間タ
ニ悉ク。船ニ乗移テ引ケル程ニ。清氏イカンに
スベキ方便ナク。唯見物シテゾ居タリケル。以
事後ニ正成関テ。哀レ宗徒ノ者ヲ向ヘナバ。直
義ヲ討取ベキナリ。然ラズハ。細川ガ兵ヲ一人
モ餘サズ。討取ナン者ヲ。唯首尾ヨク。引ントノ
三心得テ。軍ニ心ヲ懸ル事ノ。疎キガ故ニ。此畚
ヲ脱セリ。嗚呼惜哉トゾ。申サレケル。後士心得

アルベキ事ナリケリ

○豐嶋川原合戦

去程ニ正成ハ尊氏敗北ノ日ヨリ丹州揚州ノ
兩國へ間者二十人ヅ、差遣ハシケルニ走上
リテ往進シケルハ尊氏此比丹州ヨリ揚州へ
打越近日京都へ攻上ルベキノ由相関へ候ト
ゾ申シケル。是ニ依テ正成京坂本へ使者ヲ遣
ハシテ曰ク尊氏兄弟既ニ京都へ攻上ルノ由
関へ候へバ諸大將達早く揚州ノ地へ御發向

源家々々新田領城ニ迷テ

有テ一合戦仕玉ヘカシト度く申シ送ラレシ
カニ義貞ハ揚州ハ正成ノ分國ナレバ定メテ
鎮ラルベシ假令尊氏返シ上ルニ又何程ノ事
ノ有ン乎トテ延クシク申シ居ラレシカバ顯
家卿ノ曰ク新田が頃城ニ迷フテ角申ス条忠
義トヤイハマシ尊氏返シ来リナバ大勢ニテ
ゾアリナン差置ベキニアラストテ二万五千
余騎ヲ率テ卒シ二月四日ニ京都ヲ立テ山崎ニ
着玉ヒヌ此後ヤガテ揚州へ發向セント宣ヒ
シヲ正成曰ク揚州へノ御發向ハ最早ヲソク

候。度く申し送り候へ。如何ナル御所存ニヤ。
諸將に。大敵ヲ延くし。捨テキ。玉に。發向ノ
晝ヲ脱し。玉にテ。ダレバ。尊氏今ハ大勢ニ成テ。
先日ノ耻ヲ雪ントテ。勢に熾ニ攻上り候へ。バ。
最前某ガ申せし如ク。敵ハ活リ侍ル。然ル上ハ。
敵ヲ令スコシ。近ク攻寄サセ。時ヲ窺ヒ。謀ヲ以
テ戦ヒ侍ラバ。又勝利ヲ得ル事アラント。申サ
レシカバ。顯家卿ヲ始メ。結城伊達信光ノ者共
モ。皆最モト同じケリ。此ニ新田ノ人共。義貞へ
申しケルハ。北畠殿御發向アリし上ハ。一定合

戦ノアラシムルニテ候へ。早く御也馬候へ
ト。申しケル程ニ。義貞サラバトテ。五日ノ卯ノ
刻ニ坂本ヲ立テ。山崎へ着陣セラレケルニ。正
成曰ク。新田殿ノ軍ニ怠リ玉ヲ条所謂ナレト
申サレシカバ。新田ノ人共モ。心アルハ。左様ニ
コソトゾ申しケル。而シテ軍ノ評議ノアリケ
ルニ。正成曰ク。此ニテ待テ戦ハ。謀アリナン。
所ハイカントナレバ。尊氏ガ兵共。先日ノ耻ヲ
雪ント。上下共ニ勇ンテ進ムヨシニ侍ル。然レ
モ又。其中ニモ。此方ノ強キ事ノミヲ云テ。怕ル

者モ多キ由ニ侍ル。以等ハ進ム者共ニ。引立ラ
レテ。上ルマデナリ。又新田殿ノ御下向ニ候ト
テ。敵ノ上下。私語事カギリナキ由ヲ申ス。尊氏
兄弟ハ。敵ニ行逢ン所マデト思ヒテ。上リナン
ニ。芥川アヲガハ山寄ヨリニ里京ヨリ五里ノ边マデ来
リナバ。敵ハ何程ノ事ニヤト。弥不審ニ思ハン
處ヘ。夜半カ曉天ニ。新田殿ハ芥川ヘ押寄玉ヒ。
北畠殿ハ。北ナル山ニ傍テ。敵来ラバ横合ニカ
カラセ玉ヒ。某ハ霄ヨリ。芥川ノ後口ノ山ニ取
上リテ兵ヲ伏セ。敵新田殿ノ喊ノ色ニ仰天シ

テ敵陣周章セシ處ヘ。落シ懸ナハ。尊氏兄弟ノ
内。一人ハナドカ。討取デ有ベキ乎ト。謀細クト
申サレシカバ。顯家卿ハ。最モトテ同ジ玉ヒス。
又義貞ハ。尊氏ガ軍立。例ノ事ニ候ヘバ。何ゾ其
追ノ。沙汰ニ及ビ候ハン乎。唯彼等ニ行逢ン所
マデ。馳向テ。討破テ呉候ベシト。事モナケニ申
サレシカバ。正成曰ク。然ラバ。玆明日ハ。御發向
候乎トナリ。義貞曰ク。申スニマ及ビ候。何程ノ
事ノ候ベキト申サレシカバ。正成曰ク。御向ヒ
アラシニ於テハ。運ノ戦ヒニシテ。勝負氏ニ不

三村實金
一之十
○十口
定^テ某^カが申^ス處^ハ。定^ニテ侍^ル。其^ノ定^ヲ捨^テ玉^ヒテ。
不^フ定^テノ儀^キヲ取^リ玉^フ事^ハ。更^ニ心得^ズ侍^レ。臣^ハ強^ニ
止^ムメ申^ススベキニアラズ。某^ガ存^ズル旨^ハ。右ノ
通^リニテ候^ル。以^テ御向^ヒ候^ハ。敵軍新田殿
ノ。向^ヒ玉^フト見^バ。要^{ヤリ}害^{ガイ}ヲ前^ニ當^テコソ。待^ベ
キニテ侍^レ。御謀^{ナク}ンバ有^ベカラズ。能^ク
察^サシ玉^ヘトゾ申^サレケル。然^ルニ義負^一圓ニ
用^ヒズシテ。六日ノ卯ノ上^剋ニ。二万余騎ニテ
向^カハレシカバ。顯家卿ハ。辰ノ上^剋ニゾヤ玉^ヒ
ス。サレバ正成^ハ。義負^ノ也^馬ニモ。對^モ面^セラレ

ズ。舟田長門守^カ後陣^ニ切^リ下^リテ通^リシテ申^ス
スベキ事アリトテ呼^コ寄^コテ曰^ク。世^ハ又^危ク侍^ル
ル。新田殿ニハ亡^ダ相^サノ侍^ルゾト申^サレシカバ。
舟田驚^ホキ。コハ何^ト思^シメシ。左^サ仰^フセ候^ヤラン
ト問^ケレバ。正成^ハ和^ワ殿^ハ。未^イ見^ミ玉^ハズマ。此^コ程^ハ
女^メ色^シニ迷^ミヒ玉^ヒテ。軍^{グン}勢^ハニ太^タダ怠^タリアリ。是^コ其^ノ
亡^ガ相^サニ非^アズトセン乎^ヤ。臣^シタルノ道^{ミチ}。諫^カ言^ハヲ入^ラ
レ候^ヘト申^サレシカバ。舟田畏^カリ候^ト計^ガリニ
テ出^デニケリ。サル程ニ。新田北畠^ハ發^{ハツ}向^コノ由^ヨ。向^カ
シカバ。直義豐^テ鷲^シ川^カ原^ラノ岸^キヲ要^{ヨウ}害^{ガイ}トシテ。討^ウキ

三
下
向
ヲ
待
シ
カ
バ。
北
畠
ノ
先
陣。
結
城
伊
達
信
光
ノ
者
興。
五
千
余
騎
一
半
ニ
成
テ
向
ヘ
ハ。
二
陣
ハ。
秋
田
城
助
ヲ
始
メ。
南
部
ノ
者
興。
六
千
余
騎。
是
モ
一
半
ニ
成
テ
進
ケ
リ。
三
番
ニ
顯
家
卿。
八
千
余
騎
ニ
テ
向
ハ
レ
ケ
ル
ガ。
豐
瀧
川
原
ハ。
向
フ
ノ
岸
太
ダ
高
ク
シ
テ。
上
ル
ベ
キ
便
モ
ナ
ク。
城
ノ
如
ク
ナ
ル
ニ。
道
一
筋
明
タ
ル
ヲ。
追
越
ン。
攻
上
ラ
ン
ト。
進
ケ
ル
處
ヲ。
敵
強
ク
ノ
精
兵
ヲ。
岸
ノ
面
ニ
立
並
ベ。
指
取
リ
詰
散
ク
ニ
射
立
シ
カ
バ。
官
軍
四
度
路
ニ
成
テ
見
ユ
ル
處
ヲ。
仁
木
左
京
太
夫
義
長。
八
百
余
騎
ニ
テ
蒐
立
シ
バ。
結
城

伊
達
信
光
ノ
者
興。
大
勢
討
セ
テ
引
退
バ。
二
陣
ノ
由
利
島
海
入
替
テ
懸
リ
シ
ニ。
是
モ
大
勢
討
レ
ケ
レ
バ。
宇
都
宮
公
綱。
一
千
余
騎
ニ
テ。
顯
家
卿
ノ
後
陣
ニ
在
ケ
ル
ガ。
サ
ラ
バ
其
討
破
テ
ミ
イ
ラ
セ
ナ
ン
ト
テ。
國
司
ノ
陣
ノ
前
ヲ
打
通
リ。
魚
鱗
ニ
成
テ
懸
リ
シ
ヲ。
細
川
清
氏
諸
取。
仁
木
ニ
替
テ。
散
ク
ニ
是
ヲ
射
立。
清
氏
真
先
ニ
進
テ。
宇
都
宮
ト
見
ナ
シ
タ
リ。
細
川
相
州
ヲ
見
ス
マ
ト
呼
テ。
一
文
字
ニ
懸
入
ケ
ル
ニ
コ
ソ。
宇
都
宮
ガ
昂
從
モ。
五
十
四
人
ゾ
討
レ
ケ
ル。
其
外
半
負
數
知
ラ
ズ。
然
レ
バ
義
負
ハ。
顯
家
卿
ヘ
軍
使
ヲ
遣
シ
テ

曰ク。御勢疲テ見ヘ候。某生手ニテ候ヘバ。入替
リ候ハントナリ。是ニ依テ國司。攻口ヲ退キ玉
ヘバ。義貞ニ万余騎ヲ七手ニ分テ。立ラレシガ。
大館六百余騎江田八百余騎ト一手ニ成テ。入
替ク戦ヒシカニ。官軍手ヲ負。討ル、計リニテ。
敵軍増ク強ケレバ。味方令ハ引色ニゾ見ヘニ
ケル。然ルニ正成ハ。義貞ヨリ先立テモ。向ハル
ベキ事ナリシガ。義貞飯宅ノ心有故ニ。定ノ勝
ヲ捨。勝負ノ不定ナルヲ好ミ。一息ノ間モ。急テ
此陣スベキ事ハ。晝ヲ脱テ延クシク急リ。待テ

利アラシキ事ハ。逆テ急ニシテ利ヲ失フ。何トイ
ヘル事ゾ。大將ノ行跡ニアラズ。忠臣義士ノ道
欠タリト云テ。唯黙然トシテ。居ラレシニ。舍弟
正氏来リテ曰ク。ナド角緩クトシテハ。てして
スマラン。先ニハ必定合戦ノ候ハン他人ノ事
タニ。宜ハセ玉フ御身ノ左様ニテハ。義貞ノ二
ノ前ニテハ。候ハスマト。申シナレバ。正成天下
ノ事ヲ。心中ニ思フガ故ニ。忤然タリ。最モニ侍
ルトテ。一笑シテ。せラレケレバ。早午ノ刻ニゾ
ナリニケル。其勢都合六千余騎。軍ヲ五軍ニ配

シタリ。先陣ハ恩地左近八百余騎。二番ハ和田
泉州六百余騎。三番ニ八尾別當八百余騎。四番
ハ正成三千余騎。五番ニ正氏六百余騎トゾ聞
ヘナル。然ルニ道スカラ。手負死人ヲカキテ。都
ノ方へ上ル事。数ヲ知ラズ。正成是ヲ見テ。事ノ
子細ヲ尋子問セ。左見ツル事ヨ。然ラハ某が先
陣ハ。追手ノ口へハ。向フベカラス。神崎ヨリ。南
ノ濱へ打セ。敵陣ヲ北ニ見ナレテ戦フベシ去
ナガラ。此ニテ兵ヲ備ヘヨトテ。芥川一里計リ
行スコレテ。シバラク軍勢ヲヤスメ。竹葉ツカ

ハセ神崎ヨリ。振州川辺郡ノ内ナリ。京ヨリ。其身ハ
三十騎ノ黨ノ者ヲ召具シ。先陣ノ恩地カ勢ノ
中へ。加リテゾ向ハレケル。然レバ戦ヒツカレ
タル官軍。菊水ノ旗ヲ見テ。氣ヲナヲシ。喊ヲ發
シ。勇ヲ勵ンデゾ戦ヒケル。然レバ義貞軍使ヲ
正成ノ方へ遣ハシテ曰ク。是へ御寄アラレ候
へ。一キニ成テ戦ヒ候ベシトナリ。國司以テ是
ノ如ク軍使アリ。正成別テ。兩將ノ使ニ。手ノ軍
使ヲ添遣シテ曰ク。其口ヨリ御破リアラン事
ハ。恐クハ。数百万ノ猛卒ヲ以テ仕玉フ氏。動ク

ベカラス候。相構テ。其手ヨリ兵ヲ進メ玉フナ。
飢タル兎ニ。餌ヲ與ルガ如クナラン。今見玉へ。
敵陣ヲ竹ヲ劈ガ如クニ。討崩シテ見參ニ入侍
リナント申シ送り。南ノ濱ヨリ迂テ。直義ガ本
陣ニ向テ軍立シ。矢一ツ射ルトゾ見へシ。正成
先陣ニ在テ鼓ヲ鳴シ。一色懸レト云ハ。八百余
騎。會叙モナク。援連テ。一文字ニ切カハレバ。敵
陣タチマテ崩レテ敗レケリ。大將ノ陣是ノ如
クナリシカバ。諸陣我先ニト北散ケリ。新田ノ
軍勢是ヲ見テ。陸縞シテ攻近ヅキ。先陣二陣乱

レテ追フ。正成モ三軍乱シテ追シム。首ヲ取事
六百三十余。内二百八十余ハ。正成ノ手ノ郎從
共ノ取シ處ナリ

○諫新田勵義

去程ニ正成ハ。直義ヲ追靡テ。而シテ申サレケ
ルハ。國司ハ揚州ノ府ニ陣シ玉ヒ。新田殿ハ。西
宮ニ陣ヲ取玉ヘ。某ハ尼崎ニ。陣仕リ侍ラント
申サレケレバ。義負曰ク。朝敵今ハ何トナク興。
降參シ。尊氏ハ自ラ亡ナンナレバ。先以度ハ。上

洛^ラシテナント申サレシカバ。正成曰ク。朝敵ヲ
 以^ヲ倭ニ。追^ツ捨^ネニシテ。上洛^ラ仕玉ヒナバ。敵又^タ活^イリ
 ナン。是ノ如クシテ。終ニ^シ尽^シ期有ベカラズ。將^シ平^ラ
 興ニ。幾^イ回^タ力危^キ事ニ^シ粉^コ骨^コ碑^イ身^シ仕ル事モ。皆^ミ徒^タ
 ラニ^ナ成^リ果^テ候ゾカシ。先日朝敵都ヲ没^ム落^セシ時。
 某^カが申ス處ヲ。用ヒ玉ヒテ。長^ナク驅^カテ進^ス玉ハバ。
 其時尊氏ハ亡^ハベキ者ナルニ。左^サモ仕玉ハザレ
 ハ。敵又^タ数^ス万^マ騎ニ成テ。都ヲヲカシ棄^リント欲ス。
 以^コ等^ラハ申ス。テモナク。如何^カナル愚^グ將^シモ。知^レ
 ル處ナリ。況^イヤ貴^キ所ニ^シ於テヲヤ。然^シモ以^コ比^ハ。

内侍拜領ニシクテ。暫時ノ別ヲモ。最^イ物^モウキ事
 ニノ三思^シシメシ。京都ニタモ。ヲハセス。忍^シンテ
 坂^サ本^モへ御^コ越^シアツテ。病^ヤト^シ林^シ玉ヒテ。諸大將ニ
 對^タ面^シモナシ。又^タ昨^サ今^コ朝^シ敵^シ。芥^ア川^カニ着^キ陣^シセバ。究^キメ
 テ勝^シ利^リアルベキ事ノ候モ。用ヒ玉ハズ。今敵ノ
 堅^{ケン}陣^シニ^シ押^シ寄^シテ。多^タノ味^ミ方ヲ討^ツシ玉ヘリ。是ノ如
 ク。合^カ戰^シヲ急^イギ玉フ事モ。片^ハ時^シモ早^ハク。坂^サ本^モへ飯^ク
 ラセ玉ヒ度^タ故ニ候ハズヤ。今又^タ追^ツ詰^メテ。討^ツベキ
 敵ヲ追^ツハズシテ。上^ノ京^シト宣^ノフ事モ。御^ノ心^シ中^シ坂^サ本^モ
 ニ飯^クリ玉ハン。為^ナラズ乎^ヤ。是ノ如^カキ消^シ息^スニテ

ハ。天下ハ尊氏ニ棄ヒトラレ玉ハニ事疑ヒナ
シ。大將ノ女色ニヲボレテ。國ヲ亡ス事。和漢以
テ一般ナリ。貴所ハ知リ玉ハズ乎。天下ノ御夕
メニテ侍レバ。心中ニ存ズル處。残スベキニ侍
ラス。他人ハ知ラジト思シメシ侍ル所。人皆智
アリ。貴所御一代ニカギラス。新田ノ何某コソ。
女ニ心ヲミドハサレテ。軍ニ怠リ。勝ベキ軍ノ
備ヲ。幾度カ脱シテ。甲斐ナク人ニ討負ヌト。イ
ハレ玉ハニ事。今時指頭ノ嘲リヲ。受玉フノミ
ニアラス。未代テデノ耻辱トハ思ヒ玉ハズヤ。

兼テハ又。貴所御一人ノ覺悟ニヨリテ。天下ノ
民ヲ。若ルシメ玉フ罪淺カラズ。彼ト云。是ト申
シ。此間ハ唯一編ニ。天下泰平ナラン事ヲノミ
思シメシ。片刻モ早ク。朝敵ノ根ヲ断ニ事ヲ。御
心ニ懸ラルベキ事ニコソト。詞ヲ密ス申サレ
シカバ。義負ケニモト思ハレタル氣色モ現レ。
又最耻カシ氣ニテ。楠殿ノ宣フ處。深くシキ御
戲レニ候。何条某左様ニ候ハン乎。尊氏が在ニ
ヅル限リハ。追詰テ討亡シ候ハン者ヲトテ。軍
ヲ西宮ヘゾ進ラレケル。其時西國ヨリ。土居ニ

即通治得能弥三郎通言兩勢合セテ四千余騎
共船ヲソロヘテ上リケルガ義負ニ對面シテ
某等今上リノ生手ニテ候ヘバ今日ノ先陣ヲ
賜リ候ベシト申シケレバ義負曰ク船中数日
ノ勞息ベカラザレバ三陣ニ備ヘラレ侍レト
申サレシカバ得能弥三郎船ハ家ノ物ニテ候
ヘバスコシモ疲タル事ハ候ハズ家ノ為面目
者ニ似テ候ヘバ先陣ハ某等ニタマハリ候ヘ
ト申シケル程ニ義負怒ル上ハトテ許レケリ

○小清水合戰

去程ニ正成ハ夜半ニ居寄ヲ立テ卯ノ上剋ニ
西宮ニ到着シ義負ニ對面シテ曰ク昨日豊島
川原ノ合戰ニ怠リ遅參ノ上御兩將ノ御軍勢
皆く戰ヒ疲レ候ハニ今日ニ於テハ某先陣仕
リ侍ラント申サレシカバ義負曰ク去バ候土
居得能ノ所望ニ依テ先陣ヲマイラセ候イカ
ガ仕リナンヤト申サレケレバ正成曰ク生手
ノ先陣御所望最モニ候然ラバ某ハ二陣ニ候
トナリ是ニ依テ先陣ハ土居得能四千余騎ヲ

二千二分土居二千二百余騎ニテ一陣ニ進メ
バ。二陣ハ得能千八百余騎ニテ備ヘタリ。二番
ハ楠河内判官正成先陣ヲ去事七町計リ。和泉
河内紀州ノ勢走加テ八千余騎軍立餘陣ニ混
ゼズ。進退法有テ啟閉路アリ。旗幟明ニシテ。金
鼓誤ラス。規矩準繩ニシテ。毫釐毛違ヒナケレ
バ。群ヲ拔テゾ見ヘニケル。而シテ軍ヲ令ル事
七ツ。一陣ハ多田院ノ一族。陽川ノ庄司千五百
余騎。二陣ハ楠正氏千三百余騎。三番ハ恩地左
近八百余騎。四番ハ志貴右衛門六百余騎。五番

ニ判官正成二千余騎。六番ハ八尾僧正八百余
騎。七番ニ和田正遠安間了願一手ニ成テ千三
百余騎。各魚鱗ニ備ヘテ進ミケル。其次ニ新田
左兵衛督義負軍務ヲ管理シ。軍馬ヲ整點シ。武
ヲ耀カシテ。二万余騎ニテ進ミレケル。是モ軍
ヲ七ツニ分タリ。後陣ハ又八町計リ退ヒテ。北
畠源中納言顯家卿千乗結城伊達南部千福金
沢鳥海田村由理白川會津白石信玄岩城相馬
真壁ノ人々一勢ク引令テ。軍ヲ備ル事十六次
第ヲ乱サズ。四方十里ニ支ヘタリ。然ルニ正成

申サレケルハ。敵軍生田ノ森^{モリ}。播州^{ハタテ}矢田部^{ヤタベ}郡^ノノ
西宮ヨリ^ミ。先陣トシテ支^サヘバ。左右ナク破^ヤリ
難^シ。若^{モシ}然^ラバ。新田殿ハ播州ノ方ヘ迂^ユ玉^リフベ
シト。兼^{カン}惣^{ソウ}セラケルニ。案^{アン}ニ相違^{サウイ}シテ。敵小清水^{コシミズ}
生田ノ森ト^ミノ边ニ^ミ。會^{アイ}ヌレバ。正成後陣ノ義
西宮ノ間也^ミ。負ヘ。軍使ヲ遣^{ツカ}シテ曰ク。敵軍思ヒノ外。小清水
ノ边ニテ寄来^{ヨキキ}リヌ。然レバ今日ノ合戦モ。味方
勝利ヲ得^エタリトゾ申サレケル。去ホドニ敵ノ
先陣モ。今上^{イノホ}リノ生年^{アラテ}。大伴大内^{オホトモオホノスケ}。三千五百余
騎一^テ年ニ成テゾ進^スミケル。二陣ハ仁木^{ニキ}。細川^{ホソカワ}。七

千余騎。三番ハ高^{カウ}ノ一族五千余騎。四番ニ山名^{ヤマナ}。
一色^ト。土岐^キ。佐^サ。木^キ。一條板垣^{イチジョウイタガキ}。八千余騎。五番ハ石
堂^{イソウ}。上^{ウヘ}。秋^{アキ}。島山^{シマヤマ}。一^テ年ニ成テ三千余騎。六番ハ足利
直義。諸軍ノ命^{メイ}ヲ司^シリ。八千余騎ニテ後陣ニ支
ヘ。ステニ小清水^{コシミズ}边ニ。打^{ウチ}寄^{ヨス}レバ。已^ミノ剋^{コク}計^{ケイ}リニ
成ニケリ。スハヤ敵ノ旗頭^{ハタカシラ}コソ見ユレトテ。陣
中色^{イロ}メキ渡^{ワタリ}ケルニ。何^{ナニ}者^{モノ}カ云^イ。云^イシケン。二陣ニ
見ユルハ。例^{レイ}ノ菊水^{キクスイ}ノ旗^{ハタ}ヨ。又楠寄^{ナノキ}タリト云^イ。程^{ハジメ}
コソアレ。諸陣シキリニ騷^{サウ}乱^{ラン}シテ。隊伍^{タイゴ}調^{テウ}ズ
見ヘニケリ。正成ハ黨^{トウ}ノ者^{モノ}。三十騎ヲ率^{ソウ}シテ。敵

陣間近ク馬ヲ蒐寄。味方ノ足輕ニ打交リ。敵ノ
欣勢ヲ見テ。土居得能ニ申サレシハ。アレ見玉
ヘ敵陣ノ備ヘ靜メラズ侍ルゾ。御邊達眞鱗ニ
成テ蒐入玉ヘ。敵陣軍数多シトイヘ。ヨモ恠
ヘ侍ル。後ヨリ某カ、ランヅルナレバ。後
ハ心安ク思ハレヨト申サレシカバ。兩人仰セ
最モニ候ト申ス。正成ヤガテ本陣ニ立飯リ。鼓
ヲナラセバ。土居得能魚鱗ニ成テ靜カニ進メ
バ。多田湯川。正成備ヘヲ堅メテ進ミケリ。義貞
モ。スハ先陣ニ軍ハジテリヌトテ進メレケリ。

照ルニ大友大内ガ陣騷ナガラ。少ハ持テ見ヘ
ケル處ヘ。土居得能嚙ヲ並ベテ蒐入バ。大友大
内ガ軍勢。一支ヘモセズ。四方ヘ濞ト打崩レヌ。
後陣ニ備ヘタル軍クモ。スハ楠ヨト呼ハル。邑
ノ騷クシク紛クトシテ敗北スレバ。土居得能ハ
逃ル敵ニハ目モカケズ。大將直義ガ陣ニ蒐入
ントス。正成ノ辛ノ者共ハ。人ノ散シタル敵討
テハ。軍法ニ背クトテ。目ニカクル者モナカリ
シガ。多田湯川ノ者共。兵ヲ乱シテ追詰多クノ
首ヲ取テケリ。直義ハ楠トテモ。常ノ人ナリ。キ

タナシ返セト。四方ヲニラシテ下知シケレド。
土居得能備ヲ堅メテ蒐入シカバ。直義ナジカ
ハ保ベキ。兵庫ヲ差テ北ケルヲ。土居得能軍ヲ
乱シテ追詰。敵ヲ討事数レズ。以ニ正成ハ。敵
以アタリニテコソ。取テ返シナント。推計テ。濱
辺ニ傍タル。岩山ノ有ケルヲ。恩地左近ニ命ジ
テ。スコシ北ニアタリ。樵夫ノ通路ノ有ケルヨ
リ。上セケレバ。恩地マガテ歩立ニ成テ。南ニテ
ハリ濱ノ上ナル山ノ峯ニ。旗打立弓ノ兵ヲ山
ノ半腹ニヲロシテ。逃行勢ヲ散クニ。射サセシ

程ニ。返シ合セントスル者。一人モナカリケリ。
カ、リシ處ニ。義貞ハ黨ノ者ヲ引具シ。先陣心元
ナシトテ。来ラレシカバ。正成曰ク。今日ハ。イデ
ダ未ノ剋ナリ。貴所兵庫ヘ寄玉ヘ。尊氏ヲ討取
ナニ。然ラズンバ。後陣ニ結キ玉ヘ。某寄ント申
サレシカバ。義貞曰ク。尊氏ハ生手ナリ。殊ニ大
軍ナレバ。如何候ハント。申サレシカバ。正成曰
ク。其ハ事ニヨリ。大將ニヨルナリ。只今押寄バ
討取ナニ。寄ズハ畚ヲ脱シナニ。スコシモ遅ク
ハ。畚ハ脱レナニ。早く急ギ玉ヘ。今スコシノ事

ニテ。討モラシナン。唯く一足モ急ギ玉ヘヤ。返
ス。くモ急ギ玉ヘト。申サレシカバ。義貞曰ク。仰
セ最モニ候。尊氏兄弟が事。朝敵ニテ候ヘバ。各
左コソ。思ヒ玉ハンヅレド。乞願クハ。其が年ニ
掛テ。討度候ヘバ。其先陣仕リナン。判官殿ツ
キ玉ヘトテ。本陣ニ立飯リ。諸軍勢ニ竹葉ナド
遣セ。而シテ軍ヲセサレケレバ。早申ノ刻ニナリ
ニケリ。然ルニ新田ノ先陣。ステニ兵庫ヲ見ル
事。一里計リナルニ。兵船三百余艘。海上ニ浮
シカバ。正成是ヲ見テ。アレ見ヨ尊氏ハ船ニテ

逃ルハ。是義貞ノ軍ヲ進メラレシ事ノ遅キニ
依テナリ。荒口惜ヤ尊氏ヲ。又討モラシヌトテ。
其後ハ兵ヲ進メズレテ曰ク。尊氏西海ニ没落
ストイヘド。其落着ノ所ヲ知ラス。中國西國ハ。
大方朝敵ニテ有ニツルナレバ。敵ノ臆病ノ覺
ヌ先ニ。此序ヲ以テ。新田殿ハ備前備中ノ方ニ
テ。御發向アラバ。中國九州ノ者共ハ。大方味方
ニゾ参リナン。北畠殿ハ此ヨリ都ヘ飯シ参セ。
新田殿ハ免テモ前テモ。御向ヒ候ベシ。其先陣
ヲ仕リナン。其上諸軍勢ノ糧ノ事。其船ニテ運

送シ^{ミナ}茶セナント申サレシカバ。義負^{ヨシツネ}先^{サキ}兎ニ^{ウサギ}角^{カク}
ニ上京^{ミヤコ}シ玉^{タマ}ヘ。重^{オモシ}テコソ下リ候ハント申サレ
シカバ。正成^{マサナリ}曰ク。中國ハ所^{トコロ}クニ深山^{シンサン}多クシテ。
國ノ者興朝敵ト成バ。乱^{ラン}入^{イル}セン事難^{カタ}カルベシ。
今^{イマ}二十日ノ逗留^{トウリウ}ニテ。御下向^{ミカミ}在^{アル}テ後。御上京^{ミヤコ}候
ヘトナリ。義負^{ヨシツネ}曰ク。早^{ハヤ}是程^{コトハ}ニテニナリシ上ハ。
彼等^{カニ}落人^{ラクジン}ノ名ヲ取^{トル}タル者ニ。何國^{イヅク}ノ浦^{ウラ}ノ。何者^{ナニガ}
ガ與^{ヨリ}力^{リキ}シ候ハニ乎ト申サレシカバ。正成^{マサナリ}曰ク。
君ノ御政^{ミコサマ}道^{ミチ}ヲ。恨^{ウラミ}サル者ハ。左^サモアルベシ。今ハ
日本ノ武士^{サムライ}。大半^{オホハナ}朝敵ニテ侍ル。尊氏^{モリタリ}没落^{モウラク}スト

云^{イフ}凡^{ソレ}。此^{コノ}以後^{コノノチ}モ朝敵ハ。日ヲ逐^{オク}テ多クナリ。味方
ハ是ニ反^{サガヒ}シ減^ヘジナニ。加^カ様ナル時ハ。武威^{ブイ}ヲ殊^ヘ
更^{サテ}熾^{サカシ}ニシテ。諸人ヲ降^{オス}伏スルニ如^{ナリ}ハナシ。今^{イマ}御
上京アラバ。西國下向^{セイコクカミ}。大キニ延^{ノビ}引^{ヒキ}シナン。然^{シカバ}ラ
バ西國ノ者興ハ。朝敵ニゾ興スベシ。一日敵ヲ
縦^{タテ}スル則^{モト}バ。万世^{マンセイ}ノ患^{ウヘ}トイヘリ。何^{ナニ}ゾ急^{イソク}リ玉^{タマ}フ
ベケン乎。此^{コノ}發^{ハツ}向^{ムカフ}ヲ默^{モク}止^{トメ}玉^{タマ}ハバ。少^{オウ}ク味方ニ志^{ココロサシ}
ヲ通^{ツウ}ズル者モ。其^{ソノ}強^{ツヨク}キニ属^{ゾク}シテ。敵トナリナン。
小^コキ忍^{ニグミ}サレバ。大^{オホ}謀^{ボウ}ヲ乱^{ラン}ルトナリ。忍^{ニグミ}ニ品^{ヒナ}アリ
トイヘ凡^{ソレ}。其^{ソノ}理^リニ至^{イタ}テハ一般^{イツパン}ナリ。然^{シカバ}レバ此^{コノ}度^{タビ}

ノ御上京。是非ニ於テ。堪忍アラレ。兎角御下向
テシセト。強テ申サレシカバ。義負得心ナカ
リシカバ。正成令ハ諫鯁然ル上ハ。某ニ討手ヲ
許玉ヘ。マカリ向ヒナント。申サレケレバ。義負
曰ク。先上京仕玉ヘ。西國下向モ。十日トハ延
イタス間ジキニテ候トテ。終ニハ上京セラレ
ケリ。実ニ薄情カリシ事ドモナリ



三楠實錄上之十廷尉之卷

兵庫県立図書館
〒078 918 3366



100538206